

# 自社ブランド初の2LDK

## プエナビスタ 大阪市で11階建て賃貸住宅



プエナビスタ  
図越寛社長

自社ブランドマンションの開発・賃貸業を手がけるプエナビスタ（大阪市）は、大阪市西区に「プエナビスタ阿波座タワー」を竣工した。8月1日から入居を開始し

ている。「プエナビスタ」シリーズで初めて、2LDKを採用した。同物件は、大阪メトロ中央線・千日前線阿波座駅から徒歩3分に立地する。RC造の11階建てで、総戸数20戸。間取りは1LDKと2LDKが10戸ずつ。専有面積は1LDKが34・01㎡、2LDKが64・64㎡。募集賃料は

1LDKが13万円台、2LDKが24万6000～26万4000円に設定した。

これまで同ブランドは単身者向けの1LDKを中心に展開してきた。今回はDINKSやファミリー層など、多様な居住ニーズへの対応を目的に2LDKを新たに商品化した。2LDKの住戸は、タワーマンションの分譲賃貸を競合と位置付け、それに匹敵する設備仕様や居住性を追求。タカラスタンダード製のL型キッチンに食器洗い乾



▲プエナビスタ阿波座タワー



▲ワイドスパンの2LDK

ステーション、宅配ボックス、タイムスカー、LUPポートを設置。インターネットは10Gbps回線とWiFi7規格に対応するなど、日常の利便性や快適性を高めた。さらに全戸を独立住戸とし、プライバシーに配慮している。

図越寛社長は「これまで単身者向けが中心だったが、幅広い入居者層に選ばれるブランドへ進化させたいと考え、初めて2LDKを企画した。タワーマンションの分譲賃貸を意識し、設備や住み心地を徹底的に磨き上げた。今後も立地だけでなく、暮らしの質で選ばれる住まいを提供していきたい」と話している。

共用部にはホテルのような内廊下やロビーを設けた。ほかに24時間ごみ